

「不安への対処力を養う予防教育プログラム『勇者の旅』の学校現場における授業実践効果の検討」の説明書

本文書は、研究内容、同意に関する事柄などについて説明したものです。

この研究は千葉大学大学院医学研究院の倫理審査委員会で、人権擁護の面を含めその倫理性について検討を受け承認されております。この文書をよくご理解いただき、研究に同意してくださる場合には、アンケート回答用 Web ページ(千葉大学専用の Google form)へアクセスいただきますようお願いいたします。(もちろん、ご同意いただけないからといって、そのことによりあなたが不利益をこうむることは一切ありません。)

なお、この説明や以下の文書の中で分かりづらい点、追加での説明をご希望の際は、遠慮なくご質問ください。

(1) 研究の目的および意義

【目的】

本研究の目的は、千葉県内外の小・中・高等学校にて、不安への対処力を養う予防教育プログラム「勇者の旅」が授業実践された際に、その授業の前後に不安に関する質問紙調査を、プログラム実施学級・非実施学級の児童生徒・担当教諭に対して実施し、授業実践の効果（不安を低減する効果）を評価するとともに、不安低減効果への影響要因を探索的に検討することです。

【意義】

学校不適応や不登校など、子どものメンタルヘルスにまつわる問題は増加しているものの、対応の多くは問題が発生した後の事後対応に留まり、問題の発生を防ぐための予防的対応はほとんど行われていません。

「勇者の旅」プログラムは、不安症の治療に有効な認知行動療法（CBT）を、不安の問題の予防（こころの健康増進）目的のプログラムへとアレンジしたもので、先行研究(Urao et al., 2018; 2021; 2022)にて有効性が認められています。本研究で子どもの不安の変化とその影響要因を継続的・多面的に評価することで、より効果的なプログラムの開発・普及が可能となり、ひいては子どもの不安にまつわる諸問題の予防につながるものと考えています。

(2) 研究の方法・スケジュール

【方法】

プログラム実施学級および非実施学級に在籍する児童生徒の保護者の皆様には、学校から配布される説明文書および本研究説明文書をお読みいただき、研究参加に同意されない場合には、事前に拒否書を学校へご提出いただきます。ご同意いただける場合、授業時間内に学校で児童生徒が一人一台端末からアンケートサイト (Google form) へアクセスし、計 3 回のアンケートに回答していただきます。

また、プログラム実施学級および非実施学級を担当されている先生方には、本研究説明文書をお読みいただき、研究参加に同意いただける場合、教員アンケート説明文書に記載されている QR コード（または URL）から、教員向けサイト (Google form) にアクセスしていただきます。児童生徒がアンケートに回答する時期（①プロ

グラム実施前、②実施後）と同じタイミングで計2回、教員用のアンケートにお答えいただきます。

なおアンケートでは、メールアドレスや氏名等の個人情報は取得しません。送信いただいたデータは、個人が特定できない状態のまま、千葉大学内専用の Google form にて保管されます。研究者が Google form からデータをダウンロードした後は、アクセス制限のかけられた電子媒体内に10年間保存され、その後データは完全に消去されます。

【研究スケジュール】

時期 項目	授業実践期間およびフォローアップ期間		
	プログラム開始前	プログラム終了時	フォローアップ
同意取得	●		
背景情報	●	●	
教員アンケート (GAD-7、PHQ-9、PSS、オリジナルアンケート)	●	●	
児童生徒アンケート (SCAS、オリジナルアンケート)	●	●	●
プログラム終了後アンケート (実施学級のみ)		●	

【アンケートの実施方法および内容】

- ・アンケートはいずれも Web 上の専用サイト (Google form) よりご回答いただきます。
- ・児童生徒アンケートは、それぞれ以下の内容で実施します。
 1. 背景情報
 2. スペンス児童不安尺度 Spence Children's Anxiety Scale 日本語版 (SCAS)
 3. 日常生活の不安に関するオリジナルアンケート
 4. プログラム終了後アンケート: プログラムに取り組んだ感想等 (実施学級: 2 回目のみ)
- ・教員アンケートは、それぞれ以下の内容で実施します。
 1. 背景情報
 2. 職場の心理的安全性尺度 The Psychological Safety Scale 日本語版 (PSS)
 3. 全般的な不安を測定する尺度: Generalized Anxiety Disorder-7 日本語版 (GAD-7)
 4. 日本語版こころとからだの質問票: Patient Health Questionnaire-9 (PHQ-9)
 5. 子どもとのかかわりに関するオリジナルアンケート
 6. プログラム終了後アンケート: プログラムに取り組んだ感想等 (実施学級: 2 回目のみ)

(3) 予想される効果

本研究によって、プログラムをより効果的に実施するために必要なこと（心理的に安全な学校環境など）が明らかになれば、それを構築するための具体的方法を検討することが可能になると考えています。（本研究は、学校現場の先生方が心理的に安全と感じられる学校環境の中で「勇者の旅」プログラムを実施いただくための、基礎資料になるものと考えています。）

(4) 予想される危険性

この研究で実施するアンケートによって特に不利益は起こりえないと考えます。

(5) 同意しない場合でも不利益を受けないこと

この研究に協力するかどうかは、あなたの自由意思で決めて下さい。

同意しないからといって、それを理由にあなたが不利益をこうむることは一切ありません。

(6) 同意した後、いつでも同意を撤回できること

一旦同意した場合でも、不利益をこうむることなくいつでも同意を撤回することができます。その際は、事前に学校宛メールでお送りする「同意撤回書」にご記入いただき、下記アドレスまで送信してください。

その場合、回答していただいたアンケートの結果などは廃棄され、それ以降は研究目的に用いられることはありません。

ただし、同意を取り消した時点ですでに研究結果が論文などで公表されていた場合のように、研究結果を廃棄することができない場合があります。

もちろんこのような場合でも、個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。

(7) 個人情報の取扱いについて

この研究に関するデータは、番号により管理されます。メールアドレスや氏名等の個人情報は取得しないため、あなたの個人情報が外部に漏れることはありません。また、児童生徒や教員が送信した回答内容を、研究者以外の第三者が見ることはできません。結果のフィードバックに関しては、回答が特定できない形で行います。

今後、研究成果が学会や医学雑誌などで公表されることがありますが、このような場合にも、個人や学校が特定されないよう配慮いたします。なお、この研究で得られたデータは、研究終了10年後にはすべて廃棄いたします。

この研究のデータを別の目的の研究に二次的に利用する場合があります。その際は新たに研究実施計画書を作成し、別途倫理審査委員会の承認を受けて実施します。その場合も、あなた個人を識別できるような情報が漏れることはありません。

(8) 検査結果報告以外の研究成果に関する権利を放棄すること

この研究の結果として特許権などの知的財産権が生じることがありますが、その場合の知的財産権は、研究者もしくは所属する研究機関に属します。

(9) 当該臨床研究に係る資金源、起こり得る利害の衝突及び研究者等の関連組織との関わり

この研究は、科学研究費補助金（基盤C）、戦略2「子どもみんなプロジェクト」運営資金研究費を用いて実施されます。研究において、結果が歪められる恐れのある利益があることを「利益相反」と言いますが、本研究では利益相反はありません。また、研究実施計画は千葉大学大学院医学研究院利益相反審査委員会と倫理審査委員会で審査と承認を受けています。

(10) 研究担当者と連絡先（お問い合わせ窓口）

この研究について、何か聞きたいことやわからないこと、心配なことがありましたら、以下の研究担当者におたずねください。

【当院研究実施担当者】

- 清水 栄司 千葉大学子ども心の発達教育研究センター センター長
- 浦尾 悠子 千葉大学子ども心の発達教育研究センター 特任講師

【連絡先】

千葉大学大学院医学研究院子ども心の発達教育研究センター

住 所：260-0856 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

電 話：043-226-2975 内線7956

メールアドレス：yuushanotabi@chiba-u.jp